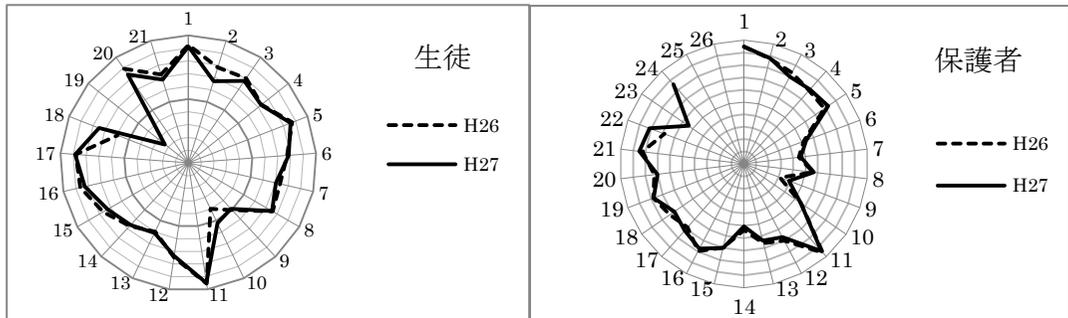


平成 27 年度 学校教育自己診断 総括

平成 27 年度学校自己診断アンケート結果より分析を行った。

【Ⅰ】生徒・保護者アンケートの経年変化から



【Ⅱ】生徒・保護者アンケートで肯定的な意見が 90%を超えるもの

[生徒]① 学校生活は楽しく入学して良かった。(92.4→91.2%)

⑪ 文化祭・体育祭や部活動等において生徒は自主的に活動している。(95.4→95.1%)

[保護者]① お子様にとって学校生活は楽しく入学させてよかった。(94.6→95.0%)

⑪ 文化祭・体育祭や部活動等において生徒の自主性が発揮されている。(95.9→94.2%)

両項目ともに学校運営の指針として重要な事項であり、肯定的意見が多いのは本校の学校運営が順調であることを示している

【Ⅲ】進路指導に関するアンケート

[生徒] ⑤ 必要な進路情報の提供など、適切な進路指導を行っている。(87.2→85.8%)

⑮ 総合的な学習で受講した三丘セミナーや大学見学、医療体験などは役立っている。(59.4→74.8%)

[保護者] ⑳ 総合的な学習で受講した三丘セミナーや大学見学、医療体験などは役立っている。(66.8→81.3%)

進路に関する項目は、高い数値で推移または肯定的意見が増加してきており、現在の指導を継続・発展させることが望ましいと考えられる。

【Ⅳ】授業に関するアンケート

[生徒] ⑦ 満足できる授業が多い。(73.4→70.2%)

[保護者] ⑧ 満足できる授業が多いと聞いている。(56.4→56.7%)

最近 4 ヶ年でも連続して 7 割以上と肯定的な意見が多い一方、否定的意見もある。ここ数年、教員の入れ替わりもめまぐるしく、教科内で授業参観・研究授業を実施するなど互いの授業の質を高め、三丘生が期待する授業の質を保証していく。

[V] 施設・設備、校内美化に関するアンケート

[生徒] ⑯ 学校の施設設備は学習環境として適切である。(86.6→82.9%)

[保護者] ⑯ 学校の施設設備は学習環境として適切である。(79.5→77.2%)

生徒・保護者ともに肯定的な意見が多い一方で、年々の老朽化により、各所で点検・整備が必要となってきた。

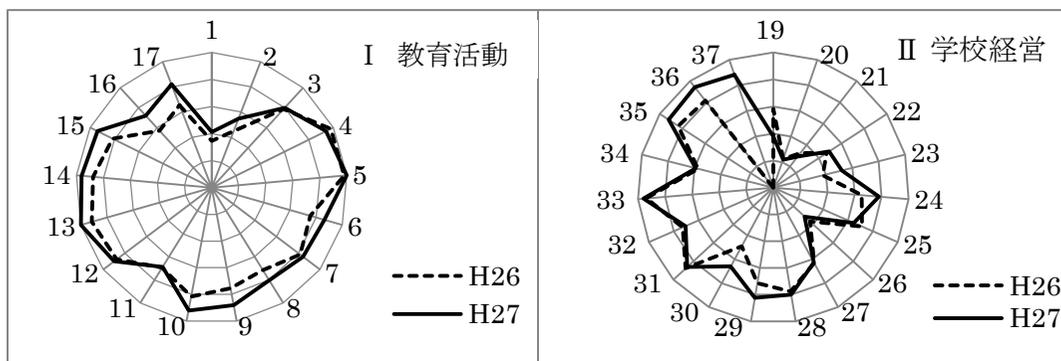
[VI] 土曜日授業の実施に関するアンケート

[生徒] ⑲ 土曜授業により学習効果が高まっていると思う。(1年 28.8%,2年 22.7%)

[保護者] ㉓ 土曜授業により学習効果が高まっていると思う。(54.1%)

導入初年度ということもあり、否定的な意見が出ることは予想されたが、良い結果であるとは言い難いが、生徒と保護者の間で肯定意見の割合に 30.8 ポイントの差があることにも留意すべきである。次年度以降の実施については、クラブ等で公欠になる生徒が多い時期は控えるなど、より効果的な取り組みが求められる。

[VII] 教職員アンケートの経年変化から



前年度同様に大きな変化が見られた。

- ① 学校では教育計画の作成にあたって教職員で話し合う機会が多い。(34.7→41.2%)
- ① 学校では教育活動全般に渡る評価を行い、次年度の計画に生かしている。
(44.9→54.9%)
- ⑳ 学校経営に教職員の意見が反映されている。(22.4→22.0%)
- ㉑ 学校は教職員が意欲的に取り組める環境にある。(32.7→29.4%)